

議 員 提 案 条 例 検 証 特 別 委 員 会

<p>1 会議の日時</p>	<p>開 会 午前10時00分 令和2年12月15日(火) 閉 会 午前11時21分</p>	
<p>2 会議の場所</p>	<p>議会西棟 第1会議室</p>	
<p>3 出席者</p>	<p>委 員</p>	<p>委員長 藤 壇 守、副委員長 山本勝敏 猫田 孝、岩井豊太郎、玉田和浩、尾藤義昭、伊藤正博、渡辺嘉山、 (小川恒雄)、松村多美夫、村下貴夫、佐藤武彦、平岩正光、川上哲也、 野島征夫、水野正敏、松岡正人、田中勝士、野村美穂、高木貴行、 加藤大博、林 幸広、水野吉近、国枝慎太郎、長屋光征、布俣正也、 広瀬 修、若井敦子、伊藤英生、澄川寿之、中川裕子、恩田佳幸、 山内房壽、安井 忠、森 治久、藤本恵司、今井政嘉、所 竜也、 平野恭子、平野祐也、小川祐輝 (40名) ※ () は欠席者</p>
<p>4 事務局職員</p>	<p>執 行 部</p>	<p>別紙配席図のとおり</p>
<p>4 事務局職員</p>	<p>議会事務局長 服 部 敬 議事調査課長 梅 本 雅 史 その他関係職員</p>	

5 会議に付した案件	
件名	審査の結果
1 議員提案条例の検証について （1）岐阜県地球環境の保全のための森林づくり条例 （2）岐阜県家庭教育支援条例 2 その他	

6 議事録（要点筆記）

○藤墳守委員長

ただいまから、議員提案条例検証特別委員会を開会する。

本日の委員会では、事前にお知らせしたとおり、岐阜県地球環境の保全のための森林づくり条例並びに岐阜県家庭教育支援条例について、その運用状況の確認と検証を行うので、積極的なご審議をお願いする。

なお、執行部職員の出席については、各条例を担当する部局を中心に出席いただいているので、あらかじめご了承を願う。

それでは、はじめに岐阜県地球環境の保全のための森林づくり条例の検証を行う。

この条例については、平成28年の本委員会において重点調査条例として検証を行い、そのときの結果については、配付の資料に記載のとおりである。

質疑・意見等は、説明が終了した後に願います。

それでは、執行部の説明を願います。

（林政部長挨拶の後、林政部次長が資料に基づいて取組状況等を説明）

○藤墳守委員長

続いて、質疑に入る。

質疑は、一問一答で願います。

○野村美穂委員

これまでに企業との協働による森林づくりに手を挙げた企業の経緯は。また、現在、どのようなアプローチで取り組む企業を増やそうとしているか。

○長屋恵みの森づくり推進課長

まず、企業からCSR活動の中で森林づくりをしたいと相談があり、候補地を紹介しながら協定締結に至る。取組み企業を増やすことについては、イベントなどの場で企業の森の趣旨、活動状況等をパネル展示して勧誘を行っている。

○野村美穂委員

22の事業者のうち3事業者しか森林整備計画を作成していないのは、計画作成のハードルが高いからではないか。また計画を作成した3事業者のうち1事業者しか継続していないのは、継続していくうえで何か課題があるのではないか。

○長屋恵みの森づくり推進課長

森林整備計画を作成する事業者が少ない理由のひとつは、再生エネルギー利用、排出量の削減努力など森林整備以外の方法で目標が達成できること。もうひとつは、企業の森の活動が、森林整備活動より社員研修、森林環境教育に重きを置くことが多く、活動面積も小さく、大きな吸収量が期待できないこと。そういった理由から計画を作成するまでのインセンティブが働かないのではと考える。

○平井林政部次長

企業の多くは森林づくり活動として植栽を希望するが、木を植える行為による二酸化炭素の吸収量は小さい。例えば、1ヘクタールのスギを植えると二酸化炭素の吸収量は約10トン、30年生のスギを間伐すれば460トンになる。間伐をした方が二酸化炭素の吸収量は多くなるが、30年生の木を社員が間伐するのは危険であり、なかなか取り組めない。植栽だとたくさん活動しても吸収量が少ないことになり、森林整備計画を作成していただくことが難しい。

○藤墳守委員長

針葉樹と広葉樹では二酸化炭素の吸収量に差があるか。

○平井林政部次長

30年生の林を1ヘクタール間伐した場合、スギは460トン。広葉樹は170トン。スギの方が断然多い。広葉樹は成長が遅く、二酸化炭素の吸収量は小さい。

○藤墳守委員長

オイスカとの連携はしているか。太平洋工業の社長が岐阜県支部の会長をしているが、連携した方が良いのでは。

○平井林政部次長

連携していない。太平洋工業と相談してオイスカの活動との連携が可能か調整したい。

○佐藤武彦委員

森林整備を業とする者の二酸化炭素の削減効果はどのくらいか。

○居波環境管理課長

2017年度の岐阜県内の吸収量は135万トン。

○平野祐也委員

一時期、二酸化炭素の排出権取引が盛んで、企業としても取り組むインセンティブがあったが、最近そんな話もなくなった中で企業のモチベーションはどうなのか。

○平井林政部次長

2050年までに二酸化炭素削減を強化していくことが国策として打ち出され、企業は森林による二酸化炭素の削減も活用しないと回っていかない時代が来る。この条例は先駆的な取組であり、そういった流れにこの条例が寄り添っていくことを期待する。

○荻巣林政部長

国の温室効果ガスの排出量実質ゼロを目指す取組については、これからいろいろな方針が出てくると思うので、うまく擦り合わせながら運用していきたい。

○藤墳守委員長

質疑等も尽きたので、これをもって岐阜県地球環境の保全のための森林づくり条例の検証を終了する。執行部を入れ替えるので、しばらく休憩する。

午前10時27分終了

午前10時30分再開

○藤墳守委員長

それでは、委員会を再開し、引き続き、岐阜県家庭教育支援条例の検証を行う。

本条例は、前回平成28年度の委員会では、書面報告とされた条例であり、重点調査条例として検証するのは、今回が初となる。

前回の委員会で報告された当時の取組現状については、配付の資料に記載のとおりである。

それでは、執行部の説明をお願いします。

(環境生活部長が挨拶の後、資料に基づいて取組状況等を説明)

○藤墳守委員長

続いて、質疑に入る。

質疑は、一問一答をお願いします。

○森治久委員

第2条に保護者が子どもに対して教え、育む事項が9つあるが、自己肯定感を高めるため、「自尊心」を付け加えてはどうか。

○山田環境生活政策課長

9項目に取り組むことで自己肯定感が向上すると考えており、引き続き9項目を推進していく。

○松岡正人委員

地域の役割についての取組が弱いように感じる。現状の課題として、今後取組もうとしていることはあるか。

○山田環境生活政策課長

地域の方には家庭教育学級に積極的に参加いただきたいと考えており、そのリーダーの育成を重要視して取り組んでいる。引き続き推進することで、地域で子どもたちを支えるという認識を深めていただきたい。

○松岡正人委員

学校、PTA、企業へは、家庭教育について発信しやすいが、地域の方々へは、市町村格差や地域性があるので、分かりやすい方法を考えて取り組み、子どもを持たない地域の方も家庭教育支援への理解が深まるようにしてほしい。

○水野吉近委員

コロナの影響で、今年度、家庭教育学級など対面式の事業はどのような状況か。また、今後、どのように実施していくのか。

○山田環境生活政策課長

感染防止対策を徹底し、YouTubeなどのICTを活用して実施するとともに、在宅取組型家庭教育学級の開催を推進している。対面式は人のつながりを作る上で重要なので、対面式とICT、それぞれの良さを生かしたハイブリッド型で推進していきたい。

○野村美穂委員

指標とする数値は、例えば取組カードの配付数だけでなく、回収した数に目を向けてほしい。また、児童虐待件数を資料に掲載し、虐待をしていない家庭も含めた全体の底上げを図る中で、基本的なレベルに至っていない家庭をどのように引き上げるかという視点を持って成果の検証をしてほしい。

○山田環境生活政策課長

取組カードの回収数は、資料では割愛しているが把握している。引き続き、より多くの取組があるよう推進していく。児童虐待の件数について、庁内関係19課で状況を考慮しながら成果の分析に努めていく。

○山内房壽委員

家庭教育支援員が設置されている市町村数はいくつか。家庭教育支援員は各市町村に一人か、複数か。県から配置に対する財政支援はあるのか。

○山田環境生活政策課長

令和2年度の配置は6市町。国庫補助があり、県も補助している。補助事業を使った市町村は6市町であるが、家庭教育支援員に準じた役割をもった人材を配置している市町村もある。家庭教育支援員の数は、関市25名、下呂市9名、中津川市、海津市、北方町、八百津町が各1名。地域の事情に応じて配置されている。

○山内房壽委員

家庭教育支援員を増やしていくための支援や要請等、方向性を教えてほしい。

○山田環境生活政策課長

現在配置している市町の成功事例を地区ごとに開催する地区家庭教育推進会議で紹介し、配置の効果を理解していただき、配置市町村を広げていく取組をしている。

○山本勝敏副委員長

家庭教育学級などに本来参加してほしい人に参加してもらえないという声がある、家庭教育は人格形成ができてからでは遅い、という点から考え、妊娠中に家庭教育を学ぶ機会を設けてはどうか。時間的に取り組みやすいし効果がある。県が関わった取組はあるか。

○山田環境生活政策課長

妊娠期からの取組は重要と認識している。市町村で、パパママクラブ、パパママ学級、妊婦教室などの取組がされており、このような取組の情報を共有、提供することで県として関わっている。

○山本勝敏副委員長

市町村の取組を調査して、市町村が互いに情報共有できるようにし、県が関わるものがあれば関わって効果を上げるよう要望する。

○布俣正也委員

大学と協働した食育事業について、講座を受けた大学生が小学生に教えるなどすると学びの推進につながると思う。ぜひ、発展的な実践をしてもらいたい。

○赤尾保健医療課長

若い世代が自分の健康について振り返り、知識を持てるよう、保健所が中心となり大学へ出向き教育している事業であり、得た知識は自分の言葉で伝えることでより深まるので、今後検討していきたい。

○藤墳守委員長

「家庭の日」について県民の認識があまりないと思われるが、取組は十分か。

○河田私学振興・青少年課長

「家庭の日」の普及啓発については、例年5,000件程度の応募がある図画・ポスターコンクールを実施し、県内各地で入賞作品の展示会を開催している。また、1月を家庭の日の強調月間としており、全市町村において広報誌による普及・啓発など取り組んでいただいている。ご指摘のとおり、以前より家庭の日の機運が下火となっていることから、普及・啓発の強化を図っていく。

○小川祐輝委員

家庭教育で一番目を向けてほしいのは、情報が入り難い、子どもとの時間が作れない、経済的に厳しいひとり親だが、ひとり親へのアプローチ、取組はあるか。

○山田環境生活政策課長

祖父母の役割、地域住民の役割により、地域全体で子どもたちを支える流れで取り組んでおり、引き続きこうした方向で取り組んでいきたい。

○小川祐輝委員

祖父母が近くにいる方、地域と関わりが持てる方は良い。地域と関わりが持てない方も多いが、そのような方を助ける仕組みはあるか。

○安村子ども家庭課長

例えば、県ひとり親家庭等就業・自立支援センターにおいては、ひとり親家庭からの様々な相談を受け、適切な助言を行うなどサポートをしている。

○藤墳守委員長

質疑等も尽きたので、これをもって、質疑を終了する。

それでは、本日説明を受けた条例の運用状況や聴取した事項を踏まえ、配付した用紙に、問題点や課題、提案する改善策等について記入の上、来年1月15日（金）までに議会事務局へ提出いただくようお願い申し上げます。

なお、本年、当委員会で検証を行った全ての条例に対する意見等についても、その期限を延長するので、積極的に提出いただくよう、お願いします。

次回の委員会開催日等については、追って伝達する。

以上で、議員提案条例検証特別委員会を閉会する。

議員提案条例検証特別委員会 配席図
 (岐阜県地球環境の保全のための森林づくり条例)

令和2年12月15日(火)
 議会西棟 3階 第1会議室

--	--	--	--	--

--	--	--	--	--

居波 環境管理課長	岩田 環境企画課長	久松 県産材流通課長	伊藤 森林整備課長	藤下 100年の森づくり 推進室長
--------------	--------------	---------------	--------------	-------------------------

長屋 恵みの森づくり推進 課長	平井 林政部次長	荻巢 林政部次長	富田 総務部次長	平野 林政課長
-----------------------	-------------	-------------	-------------	------------

委員席				
-----	--	--	--	--

委員長
副委員長
議会 事務局長

議員提案条例検証特別委員会 配席図
 (岐阜県家庭教育支援条例)

令和2年12月15日(火)
 議会西棟 3階 第1会議室

	佐藤 少年課長	松浦 広報県民課長	田口 農産物流通課長	
--	------------	--------------	---------------	--

坂井 教育委員会参与	石神 学校安全課長	赤地 男女共同参画・ 女性の活躍推進課長	古田 子育て支援課長	安村 子ども家庭課長
---------------	--------------	----------------------------	---------------	---------------

植野 人権施策推進課長	有田 文化伝承課長	赤尾 保健医療課長兼 健康推進室長	関谷 障害福祉課長	長屋 環境生活政策課 生涯学習企画監
----------------	--------------	-------------------------	--------------	--------------------------

河田 私学振興・ 青少年課長	富田 総務部次長	西垣 環境生活部長	山田 環境生活部次長	山田 環境生活政策課長
----------------------	-------------	--------------	---------------	----------------

委員席				
-----	--	--	--	--

委員長
 副委員長
 議会事務局長